

令和元年 7月31日

## 報 告 書

大田原市広報広聴委員会委員長 櫻井 潤一郎 様

大田原市議会 第3班班長 高木 雄大

大田原市議会報告会実施要綱第9条第1項の規定により、下記のとおり報告いたします。

### 記

1. 日 時 令和元年 7月 4日（木） 午後 2時30分～ 4時00分
2. 会 場 大田原市役所7階 議会フロア
3. 担当議員と役割

【第1部担当議員】	【第2部担当議員】
高瀬 重嗣（司会進行）	高木 雄大（班長）
櫻井潤一郎（見学案内）	高木 雄大（司会進行）
大豆生田春美（ " ）	高崎 和夫（意見交換対応）
前野 良三（ " ）	秋山 幸子（ " ）
引地 達雄（ " ）	印南 典子（ " ）
小林 正勝（ " ）	藤田 紀夫（ " ）
	前田雄一郎（ " ）
4. 参加者 別紙受付表のとおり
  - ・市内 14名（男性11名、女性3名）
  - ・市外 12名（男性12名、女性0名）

## 5. 意見交換会の内容

### 【教育全般】

- ・福原小学校閉校後の利用について問い合わせが多い。小規模校、小規模地域としての利用はしにくい。市のバックアップが必要。
- ・予算について、学校一校当たりの予算は現状維持か減少傾向にあると思う。本当は増額してほしいが、せめて現状維持を保ってほしい。
- ・学校の予算がある程度項目ごとに決められている。しかし学校によって足りないものが違うので、ある程度学校ごとに決められたらありがたい。
- ・黒羽中開校時は12クラスあったものが現在6クラスに。部活などにも影響が出ている。
- ・職員出張などが絡むと人手が足りない。日によっては職員室に誰もおらず、校長が電話番号をすることも。
- ・人手を増やしてほしい。人手を増やすことが一番の働き方改革である。小中一貫教育に関しては空き教室があるので都合がよい。
- ・職員数は変わらないが職員の負担が増えている。
- ・日によって教師の数よりクラスの数の方が多くなる。さまざまな団体が良かれと思い、出張要請が増えている。小学校における英語教育やICT教育など新しいものが始まると勉強することが増える。それは仕方がないが…。
- ・一番生徒数が少ない中学。地域文化の担い手がいなくなる。地域の事も学校の事も学校が全部やる必要がある。
- ・働き方改革はわかりますが、なかなかやることが多くて帰れないことが現実。何かあれば飛んでいかななくてはならないので厳しい。また本市にはタイムカードは必要ないと思う。
- ・校務が楽になるように、校務支援システムを少しずつ進めて下さっているのありがたい。
- ・学習指導員やALTの先生は学力向上のためにも数を減らさないでほしい。
- ・学習指導員は効果があると思う。特に低学年に対して上がっている。
- ・スクールバス利用の回数が決められているが、不便なところにある学校には回数を増やしてほしい。小中一貫を行うために。
- ・須賀川小学校は児童生徒数39名です。児童数が少ないので他校との交流を多く持ちたいので、スクールバスの使用回数を増やしてほしい。
- ・学校付近を百万ボルトの高圧線が通過している。そのために電波障害があり、それを取り除くための整備費用を関係者で負担しなければならない。1軒あたり約30万円かかるとのこと。教育委員会で捻出していただけないか。
- ・昨年まで予算付けしていただいていたアグリ事業が本年よりなくなってしまい困っている。少額でもいいので再度予算付けをしてほしい。
- ・遊具の検査があり、老朽化している遊具がいくつかある、との分厚い検査資料結果調書が届いた。修理して安全に使用したいが予算が厳しいよう。長い間使用不能にしてあるので心苦しい。何とか修理をお願いしたい。
- ・アピインのソフトを活用してICTによる交流を図りたい。
- ・事務方に決算と集金を任せの方が、教員が楽になる。市内の事務職員全員で共有して行うと良い。

### 【エアコン設置状況について】

- ・快適に学習できている。
- ・熱中症の心配がなくなったのでありがたい。
- ・電気代が心配なので、学校は一律の電気代になればいいなと思う。
- ・段々には特別室にもエアコンが入るとありがたい。
- ・今のところテストのときに使っている。
- ・12名～30名の生徒では冷え方も違う。
- ・いっぺんにスイッチを入れるとデコンド値が上がるので、時間差で入れるようにしているのが大変。
- ・学校によって冷暖房機が違う。(冷暖房だけと、冷暖房機両方)
- ・教室にエアコンが入ったのだから、夏休み期間を半分にするとよい。(20日ぐらいに)冬は半日(午前中)にするとよい。

### 【他施設について】

- ・和式トイレについて、洋式化も必要だが、和式が無くなると問題という意見もある。
- ・トイレの洋式化を進めてほしい。和式の使い方さえ知らない子供がいる。
- ・学校によって施設に差がある。
- ・学校によって網戸が入っているところと入っていないところがある。

### 【校庭の植木について】

- ・竹林が道路にかかり、年に2～3回地域から苦情が来る。(森林組合に切ってもらっている)
- ・桜の管理の要望。
- ・木が高く、剪定が大変。
- ・電線にかからないと切ってもらえない。
- ・地域コーディネーターに相談して手伝ってもらっている。

### 【防災拠点としての学校】

- ・防災拠点として具体的に何をやって良いのかわからない。研修がないと思う。東日本大震災の際、実際に避難の方が学校に来られて、どう対応していいのかわからなかった。
- ・学校にいる際、親への引き渡しは難しい。学校独自の判断は苦しい。昔ながらの避難訓練はしている。震災時は学校により対応がまちまちだったようだ。避難場所が校庭であったり、屋内であったり、自転車で帰らせたり。
- ・数年前のJアラートの訓練は小規模校にとってやりやすかった。
- ・規模が大きいと引き渡し訓練はなかなかやることができない。(周辺地域に渋滞が発生する可能性も)

### 【防犯について】

- ・学校の敷地を分けるフェンス等がないので防犯カメラの設置をお願いしたい。
- ・職員室から校庭が見えない。部活動の様子や何かあってもわからないので、防犯カメラをつけてほしい。
- ・防犯に関して職員室ひとりだと不審者の侵入がわからない。防犯カメラがあってもそれを見ている人がいない。(抑止力にはなるし、検証にもつかえるが)
- ・受付に職員がいれば記名、名札をつけてもらうぐらい。インターホンで入ってもらうが、鍵は開いている。
- ・スクールバス、先日の事件を見て対応の難しさを痛感。田舎ではほとんどないだろうがゼロともいえない。
- ・小学生の登下校でやっている見守りを中学生まで広げるか。そうしても悪意をもって襲ってきた人を防ぎようがない。
- ・通常の防犯に努めるしかない。
- ・那須塩原市では行政職員が避難所の担当者になっている。大田原も小中ごとに行政職員担当者決まっているが、その連絡を行っていないだけでは。
- ・学校だけでは無理。地域がかかわらねば。

### 【交通安全】

- ・学校に隣接する道路を通過する際、スピードを出していく車が多い。速度制限をすることができないか。
- ・歩道の設置されていない道路の側面を緑色にして、児童生徒の安全を確保する事ができないか。特に栃木ニコン周辺の歩道がない市道。

### 【外国人児童生徒の対応】

- ・外国人児童生徒の対応について、外国人労働者が増えてくる中、受け入れ態勢はどうなっているか。
- ・西原小学校に外国語対応のクラスがある。日本語が全くできない児童生徒だと普通の学校では対応が難しい。
- ・外国人には就学義務はないが、中には日本国籍を持っている者もいる。
- ・文化の違いか、学校への報告がアバウトな傾向がある。遅刻か欠席かそれとも誘拐されたのか判断できないことがある。
- ・以前大田原中には20人程度在籍していた。そこそこしゃべれることのできる生徒としゃべることができない生徒にわかれ、対応は不十分だった。
- ・受け入れ態勢を学校現場に任せると難しい。市が主導で行ってほしい。

### 【ひとり親支援】

- ・ひとり親世帯のしわ寄せは子供にくる。学校がまた対応することになる。学校は家庭の中まで中々入っていけない。

- ・担任や校長も代わってく。行政で把握していただければ小中一貫の見守りができる。
- ・親自体にも発達障害がある場合があり、対応が難しい
- ・教育と福祉は関わっていかなければ。対応はケースバイケース、相互に人脈が広がりパイプが繋がれば対応しやすくなると思う。
- ・学校と民生委員さんとの連携もこれから大事になるのではないか。

#### 【見守り隊について】

- ・学校区によってバラバラ。
- ・イノシシが出没したりするので、安全を確保してもらいたい。
- ・下校について、教員が途中までなので、その先を見てもらいたい。
- ・社協に協力してもらっている。
- ・祖父母たちが見守っている。
- ・学校運営協議会で模索している。

#### 6. 議会報告会の所感等

- ・色々意見交換ができてとても有意義な報告会でした。このような場を設定していただきありがとうございました。
- ・大変リラックスして本音を出し合えたので一市民としてもありがたく思いました。お世話になりました。
- ・ざっくばらんに意見交換ができて良かったと思います。普段話す機会が少ないので続けてもらいたいです。
- ・いろいろ勉強になりました。ありがとうございました。
- ・さまざまなお話が聞け、有意義な時間となりました。
- ・学校現場の意見を聞いていただけるのはありがたい。
- ・学校だけでなく子育てという観点から学校で担うべきものの中で、行政が、市民が、地域ができることを考えてもらい、学校のスリム化を図ってもらいたい。
- ・学校の現状や課題を話し合うことができ、とても有意義であった。
- ・